

**令和3年度**

**企画調整課事務報告**

**企画調整係**

**商工観光係**

**情報通信係**

**復興村づくり推進室**

## ○事業の概要（企画調整課）

令和3年度の我が国の経済は、年度後半から持ち直しの動きが続いたものの、年初から断続的に感染拡大防止を意図した経済活動の抑制が続いていることで、GDPは危機前の水準を回復していない。輸出や投資とそれに関連する生産活動には明るさが広がっており、企業利益は増加する中で業況の改善基調も続いた。一方、人々の生活には感染リスクへの対応が伴っていることから、接触機会の多いサービスへの需要は抑制されており、個人消費は一進一退の動きとなっている。

このような中、国では新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の6.8兆円の増額が計上された令和3年度補正予算が令和3年12月20日に成立した。これを受け、全国の都道府県及び市町村等へ交付金が配分されたため、本村においても独自の感染予防対策事業、経済対策事業、生活支援対策事業を計画し早急に取り組を行った。

また、令和2年7月豪雨による爪痕が未だ消えない状況にあり、令和3年度の災害復旧事業は、村道岩ヶ野下払線沿線のケーブルテレビ伝送路約800mを復旧した。

令和2年、この災害状況を検証し、今後の復旧・復興施策を総合的にかつ円滑に推進していくことを目的に山江村災害検証委員会及び復興計画策定委員会を設置し、基本理念を「鎮山親水」とした山江村復興計画を策定したが、当該計画に定める6つのプロジェクトを進めるため、復興村づくり推進委員会の委員が中心となったチームを作り、ワークショップ形式にて開催した。

そして、発災前・直後・これからの山江村を描く村民の方々と一緒に作り上げるホームページ、いわゆる復興ポータルサイトの作成準備を行った。

コロナ禍であるため、行事や村づくりイベントの開催が思うように開催できない中ではあったが、山江村復興に向け歩みを着実に進めた一年であった。

## 企画調整係

### 1. 地方創生推進事業

地方創生推進交付金を活用した事業として、「人吉球磨10市町村が一体となった地域連携DMOによる観光地域づくりプロジェクト」を実施した。本事業は人吉球磨観光地域づくり協議会が実施主体となり、人吉球磨の10市町村や県、観光協会、民間事業者や地元住民など、多様な関係者の合意のもと、人吉球磨地域自体をブランド化し、交流人口と観光消費額を拡大させ、地域経済の活性化を図るものである

【令和3年度 地方創生推進交付金】 交付確定額 1,133,000円

- ・人吉球磨10市町村が一体となった地域連携DMOによる  
観光地域づくりプロジェクト 1,133,000円

### 2. まち・ひと・しごと創生寄附活用事業

企業からの寄附を地方創生事業に活用できる「企業版ふるさと納税」について、実施要綱を作成し、寄附の受け入れ体制を整備した。

- ・山江村まち・ひと・しごと創生寄附活用事業実施要綱（山江村告示第78号）
- ・寄附実績 0件

### 3. 地方創生臨時交付金事業（新型コロナウイルス感染対応）

令和3年度も新型コロナウイルスの感染防止や感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活支援などポストコロナに向けた経済構造の転換・好循環の実現を通じた地方創生を図ることを目的とした「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」が配分された。本村には国の補正予算等により87,548千円が配分され、令和2年度繰り越し分と併せて、162,572千円の交付金を活用した32事業を実施した。

#### ○臨時交付金の内訳

- ・令和2年度本省繰越分：85,000千円
- ・令和2年度繰越明許分：52,024千円
- ・令和3年度配分額：87,548千円

※令和3年度配分額のうち62,000千円については令和4年度に本省繰越と

した。

○臨時交付金を活用し令和3年度に実施した事業

(単位：円)

No.	事業名	総事業費	交付金充当	備考
1	役場庁舎の分散体制整備事業	5,136,420	5,136,420	
2	基準日以降誕生新生児の特別定額給付金給付事業	2,200,000	2,200,000	
3	こどもの夢(スポーツ)継続活性化事業	2,948,000	2,948,000	
4	公共施設における避難所機能強化事業	8,590,984	8,590,984	
5	福祉避難施設の屋外洗濯場設置事業	1,083,500	1,083,500	
6	飲食店に対する営業時間短縮要請協力金負担金	208,000	208,000	
7	消防組合新型コロナウイルス感染症対策負担金	228,000	228,000	
8	行政手続きのオンライン化に向けた例規整備事業	4,180,000	4,180,000	
9	WEB会議室整備によるデジタル化推進事業	2,970,000	2,970,000	
10	薪ストーブ設置事業	2,256,100	2,256,100	
11	コロナ禍イベント用検温等機器整備事業	2,312,702	2,312,702	
12	オンライン会議環境整備事業	434,390	434,390	
13	公衆浴場給水設備改修事業	7,788,000	7,788,000	
14	中学校テレワーク環境整備(システム改修)事業	1,012,000	1,012,000	
15	新型コロナ対策分散業務環境整備事業	490,633	490,633	
16	新型コロナ対策教職員分散業務環境整備事業	330,000	330,000	
17	プレミアム商品券発行事業	6,305,064	6,305,064	
18	社会体育施設における避難所機能強化事業	40,717,600	40,691,110	
19	コロナ禍における村内介護予防事業等推進事業	1,705,000	1,705,000	
20	地域公共交通運行継続支援	91,000	91,000	
21	水稻生産継続支援対策事業	11,714,462	11,741,462	
22	公立学校情報機器(教職員用)購入事業	6,036,800	6,036,800	
23	子育て世帯への臨時特別給付金追加給付事業	500,000	500,000	
24	新型コロナウイルス感染症の早期検査事業	861,520	861,520	
25	安心安全な学び環境確保事業	447,315	447,315	
26	やまえ暮らし応援券発行事業	35,044,710	33,989,200	繰越明許
27	ウェルカムやまえキャンペーン事業	10,171,000	10,171,000	繰越明許

28	農業・食品産業強化対策事業	176,000	176,000	繰越明許
29	スマート農業推進による経営継続支援事業	2,461,800	2,461,800	繰越明許
30	丸岡公園コロナ禍マルシェ事業	2,376,000	2,376,000	繰越明許
31	学生等就学支援給付金事業	1,640,000	1,640,000	繰越明許
32	公共施設等の管理維持体制持続化事業	1,210,000	1,210,000	繰越明許
合計		163,627,000	162,572,000	

#### 4. 山江村住宅リフォーム助成事業

住民の居住環境の向上及び村内の商工業等の活性化を図るため、住民が居住する住宅のリフォームにおいて助成を行う。令和3年度は5件の申請があり下表のとおり助成を行った。

(単位：円)

No.	対象必須工事	工事額（税込）	交付決定額
1	公共下水道への接続	1,100,000	200,000
2	公共下水道への接続	1,487,200	200,000
3	UD化（段差解消）	831,600	166,000
4	省エネ化（断熱窓設置）	964,172	192,000
5	木材利用促進	1,329,258	200,000

#### 5. 企業誘致

人吉・球磨しごと創生連絡協議会の活動

以前の「人吉・球磨企業誘致連絡協議会」から名称を変更し、令和3年度も人吉・球磨の10市町村が、企業誘致に関する情報を交換し、連携して企業誘致を推進することにより、人吉・球磨地域における雇用の場を創出することを目的として活動を実施。

##### ○ 情報交換事業

運営委員会（計8回開催）、企業誘致候補地及び各種制度に関する情報の共有化、企業誘致ノウハウ等研修会（令和3年12月20日オンラインにて開催）

##### ○ 企業アプローチ事業

熊本県東京事務所との意見交換（令和3年11月24日オンラインにて開催）



(1) 学校基本調査

基準日：令和3年5月1日

(2) 令和3年度経済センサスー活動調査

基準日：令和3年6月1日

調査員：2名

(3) 令和3年度市町村民経済計算

調査対象年度：令和元年度

9. 山江村ふるさと応援寄附金

【寄附金内訳】 令和3年3月～令和4年2月寄附

	寄附者の寄附金希望使途事業	金額
1	特産品の開発及び地域産業の振興に関する事業	28,021,000円
2	高齢者の生活を支援する地域づくりに関する事業	4,375,000円
3	自然環境保全並びに地域景観の創造に関する事業	7,853,000円
4	青少年の健全育成及び教育環境整備に関する事業	13,919,000円
5	伝統芸能並びに文化の伝承及び創造に関する事業	1,564,000円
6	ボンネットバス「マロン号」の保存及び活用に関する事業	1,327,000円
7	その他目的達成のために村長が必要と認める事業	20,536,000円
8	災害支援金	2,988,800円
	合計 (6,984件)	80,583,800円

【寄付金活用内訳】

	寄附金使途事業	内容	活用額(円)
1	特産品の開発及び地域産業の振興	活用なし	0
2	高齢者の生活を支援する地域づくり	活用なし	0
3	自然環境保全並びに地域景観の創造	活用なし	0
4	青少年の健全育成及び教育環境整備	防犯カメラ設置	500,000
		山田小体育館トイレ洋式化	500,000
		図書購入	800,000
5	伝統芸能並びに文化の伝承及び創造	活用なし	0

6	ボンバス「マロン号」の保存及び活用	活用なし	0
7	その他目的達成のために村長が必要と認める事業	温泉センター管理	9,200,000
合計			11,000,000

## 10. 土地利用

国土利用計画では、土地の利用について土地の高騰を抑制して、乱開発を未然に防止するため届出制による土地取引を義務付けている。

- 国土利用計画法第23条第1項による届出件数（10,000㎡以上）

届出件数：3件

無届出件数：1件

## 11. 庁内グループウェア更新事業

令和2年度まで使用していたグループウェアが令和3年12月をもって使用できなくなることから、更なる情報共有・業務連絡を円滑にし、業務効率化を図ることを目的として、庁内のグループウェア更新を行った。

- グループウェア（デスクネッツ）更新業務

## 12. 山江村移住定住促進事業

例年、移住定住促進施設「淡島ゲストハウス」で、移住希望者に対し田舎での暮らしを体験してもらっている。

- 令和3年度利用件数 3件（6名）

## 13. 結婚対策

進行する晩婚化や少子化に対応すべく、球磨郡9ヵ町村にて「結婚支援協定」が平成24年4月13日に締結され、広域で連携した支援を行っている。令和3年度は、令和4年2月11日にイベントを予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止となった。

# 商工観光係

## 1. イベント

### (1) やまえつつじ祭り

ツツジの名所と山江村の魅力を発信し、祭りによる交流人口拡大を目指すことを目的に開催しているやまえつつじ祭りだが、令和3年度は新型コロナウイルス感染防止対策として内容を一部変更し実施。メインの祭りは中止。

■期日：令和3年3月27日～5月9日

■場所：丸岡公園野営場前

■実施内容：

①やまえ復興まるおかマルシェ

出店数 延べ29店舗 / 来店者数 延べ1,417人

②ゲーム「ザ・キングオブヤマエ」

③まるおかイルミ（丸岡公園二の丸広場のつつじのライトアップ）

④#やまえまるおか（SNSを活用した情報発信）

### (2) やまえ栗まつり（第17回）

主要産業である「栗」を活用したイベントを実施し、やまえ栗のブランド力向上をはじめ、生産意欲の高揚や6次産業化を加速させ、販路拡大、交流人口の増加を図ることを目的に開催する栗まつりは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため内容を一部変更し実施。

① やまえ栗フェア

実施期間：令和3年9月19日（日）～9月30日（木）

参加店舗：16店舗

商品売上総額：約16,629千円

プレゼント企画及びリモート交流を実施。

② やまえ栗の日イベント

村内飲食事業所で栗を使った食事の提供

村内学校で栗を使った給食の提供

CATVで絵本「ちいさなむらのくりものがたり」を放送

## 2. 山江温泉ほたる・物産館ゆっくり

令和3年度5月及び8月の新型コロナウイルス感染症蔓延防止重点措置が行われ観光客等の移動制限が実施されたことに加え、全国的な物価高騰が影響し、やまえ温泉ほたる及び物産館ゆっくりの売り上げにも打撃を与えた。

利用者数の回復も含め、更なる経営改革に取り組むよう支援・指導を行う。

### (1) (株) やまえ

#### ・山江温泉「ほたる」宿泊者数（人）

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
4,529	4,389	3,358	4,306

#### ・山江温泉ほたる及び物産館ゆっくり利用者数（人）

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
山江温泉ほたる	88,138	75,676	57,630	56,778
物産館ゆっくり	37,501	34,452	26,047	31,489
計	125,639	110,128	83,677	88,267

#### ・売上額（千円）

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
202,029	190,877	138,789	167,917

#### ・当期純利益（千円）

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
4,566	4,295	△8,925	△8,811

## 3. 特産物振興関係

特産である栗のブランディングを行うことで、村民所得と山江村の認知度向上を目指している。

令和3年度は、山田小学校にて3年生総合的な学習の一環で、「やまえ栗のブランディング」について、山江栗の歴史や生産を含め講演を実施した。

### (1) 山江村特産品等出店事業助成金交付実績

申請件数 2件

第38回全国都市緑化くまもとフェアに係る出店への助成。

#### (2) 海山交流事業（対馬市）

毎年、訪問していた『いきいき豊玉まつり産業祭』へは、令和2年度に引き続き新型コロナウイルス感染拡大により訪問を断念した。

### 4. 内水面漁業振興に関すること

#### (1) ヤマメの養殖

漁業振興と地域活性化を目的に、昭和63年度内水面漁業振興対策事業により淡水魚（やまめ）養殖施設を整備。

平成16年度からヤマメ生産組合へ施設管理委託を行っている。

#### (2) ヤマメの放流

ヤマメの放流を行いヤマメの増殖を図ることで、自然豊かな山江村のイメージを向上させる。

放流日：令和3年10月11日（月）

放流稚魚数：1055匹 放流場所：万江川の各所

#### (3) 稚鮎放流

昭和45年に球磨川漁協と毎年稚鮎を万江川へ放流する稚鮎放流に関する契約を締結。今年は9,108匹放流。

アユ放流負担金 240,000円

放流日：令和3年4月23日（金）

### 5. 丸岡会関係

本村出身者で構成される丸岡会は、山江村の振興策の提言や交流促進を目的にお互いの親睦を深め、情報を共有するために開催。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の蔓延により、熊本丸岡会及び関西丸岡会は開催中止となった。

### 6. ボンネットバス「マロン号」

本村が所有する山江村ボンネットバス「マロン号」は、本村の観光をはじめ、多岐にわたる振興及び地域づくり活動への参加することにより、山江村の広告塔として活躍している。令和3年度においては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため活動を自粛した。

## 7. 商工業支援

新型コロナウイルス感染症拡大により売り上げが大幅に減少した村内の中小企業等を支援するため以下の事業を実施した。

番号	事業名	概要	補助等実績 (千円)
1	山江村プレミアム商品券発行 事業補助金	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレミアム率 30%</li> <li>・2,000 部発行</li> </ul>	6,305 千円
2	ウェルカムキャンペーン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・村内に住所を有する事業所及び事業者で施設の利用者に対しクーポン券を適用</li> </ul>	10,171 千円
3	時短要請協力金負担金	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナウィルスに係る営業時間短縮要請に応じた事業所への支援</li> </ul>	208 千円
4	地域振興券「やまえ暮らし応援券」事業実施にかかる業務委託	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人当たり 1 万円の振興券を配布し、地域経済の活性化を支援</li> </ul>	35,044 千円

## 情報通信係

地上アナログ放送の終了に伴う難視聴地域対策として、平成 22 年 4 月に開局したケーブルテレビセンターは、デジタル放送・BS 放送・CS 放送に加え村内のイベントや、行政からのお知らせなど、山江村の情報を提供する自主放送を行っている。

また、情報格差の是正として、光ファイバーによるインターネットを村内全域で利用できる環境を構築することで、産業経済及び教育文化の向上、村民福祉の増進を図っている。開局より 10 年が経過し情報基盤通信機器の老朽化が進んでいるため、平成 29 年度より 3 ヶ年で機器の更新を行ったが、4K・8K 放送の対応や域内無料電話とインターネットを制御しているシステムの生産終了に伴う対応やインターネット加入者の増加により、時間帯によっては接続しづらい状況も確認され、インターネット高速化への要望も高まっており新たな課題が出てきている。

令和 2 年 7 月豪雨災害では、大雨により増水した河川災害や山腹崩壊によりケーブルテレビ伝送路が共架している電柱も倒壊し、伝送路が断線する被害を受け、一時は山田下払・大平地区、山田尾寄崎・万江鳥屋地区、万江大川内地区の 50 世帯ほどが放送停止となったが、令和 3 年 3 月までに応急復旧及び本復旧業務は完了した。

また、令和 3 年度では共架電柱の復旧にあわせ下払地区の本復旧を実施。熊本県が行う河川・県道災害復旧工事に伴う設備変更業務など災害復旧関連業務も発生している。未曾有の災害であった豪雨災害からの復旧・復興への思いを村民全体で共有できるよう、災害を記録し、災害からの復旧・復興の状況を伝えるため日々撮影し放送を行っている。

### 1 加入状況

#### ケーブルテレビ

年 月	実質世帯数	加入件数	加入率	備考
令和 3 年 3 月末	1,137	942 件	82.85%	事業所等 55 件
令和 4 年 3 月末	1,137	934 件	82.15%	事業所等 57 件

## インターネット

年 月	実質世帯数	加入件数	加入率	備考
令和2年3月末	1,137	327件	28.76%	事業所等12件
令和3年3月末	1,137	341件	29.99%	事業所等12件

加入状況について昨年度末と比較すると、ケーブルテレビの加入件数については8件の減となっている。近年加入率は80%程で推移している。

令和3年度においては新たにケーブルテレビに加入する世帯もあるが、高齢独居世帯など施設入居や死亡による減少の方が多かった。インターネットについてはより生活に密着したサービスとなっており年々増加傾向で、加入件数が14件の増、加入率が1.23%の増となっている。

## 2 ケーブルテレビ事業運営状況

### (1) 使用料、手数料収入

#### ○料金設定

- ・基本使用料 1,500円 (セットトップボックス1台含む)
- ・セットトップボックス1台 500円
- ・インターネット 2,500円 (一般世帯)、4,000円 (事業所等)
- ・無線ルータレンタル 100円

#### ○令和3年度使用料収納状況

(単位：円)

項目	調定額	収入済額	収入未済額
現年度分	26,805,700	26,387,200	418,500
過年度分	775,500	175,300	600,200
計	27,581,200	26,562,500	1,018,700

### (2) 番組制作

#### ○やくばだより

- ・各課から選出の代表者により会議を行い、やくばだよりや広報でお知らせする内容などを検討した。

(毎週土曜日更新の15分番組)

### ○やまえ CATV 情報局

- ・山江村に関するイベントや村内の出来事などを伝えるニュース番組  
(毎週土曜日更新の30分番組)

### ○やまえ TODAY

- ・毎日の出来事や翌日のお知らせ、おくやみ等を伝えるニュース番組  
平成26年5月より放送を開始した。

15時頃までに撮影できた映像を編集し、その日の18時55分に放送している。

(議会開催日を除いた平日更新の5分番組)

### ○スペシャル番組

- ・体育祭や式典などを30分から2時間程度の長時間で編集した番組  
(不定期更新)

### ○その他の番組

- ・テレビ回覧板、テレビ村長室、ドキュメンタリー番組「やまえ NOW」  
議会の生中継・録画放送、健康体操、その他緊急放送

## (3) 機器操作等サポート

### ○サポート状況

- ・加入者からの連絡により毎週数回は加入者宅へ出向いてのサポートを行っている。

また、休日のテレビ視聴が多いためか土日の連絡が月に数回ある。

### ○サポート内容

- ・主なサポート内容は次のとおり

#### テレビが映らない

- ・テレビの入力切替
- ・リモコンのスイッチ切替
- ・テレビやSTB等の電源が入っていない
- ・テレビの移動等による配線間違い

#### 電話がつながらない

- ・電話機の故障
- ・告知端末の不具合

- ・ONUの不具合
- インターネットが繋がらない
  - ・告知端末の不具合
  - ・ONUの不具合
  - ・無線ルータの不具合

※簡単な操作誤りや、すぐに回復できるケースが多い。特に高齢の方からのサポート依頼が近年増加している。

※開局から10年を経過し、宅内機器の経年劣化による故障も目立ち始めている。  
※機器の交換など専門性を要するものについては、(有)興和通信と締結している保守の範囲内で実施する。

## 復興村づくり推進室

復興村づくり推進室は、令和2年7月豪雨災害からの復旧・復興に向け、山江村復興計画に基づく取組みを推進するため、令和3年4月に地域づくり研究所から改称された。

山江村復興計画においては、復興期に向け3つの仕組みを確立することを目標として、6つのプロジェクトに分類し、住民と共に各分野で全庁的に取り組んだ。

また、地域づくり研究所の業務も前年度に引き続き実施しており、山江村の情報を集めデータ化し、誰にでも現状の見える化を図り、地域の課題を解決する調査・研究や提言を行うことや、村民生活のあらゆる分野においてICTを活用することで、安心安全な暮らしや、福祉の向上、産業振興による所得の向上、雇用の創出を進めた。

また、地域づくりの実践活動を支援する事業も行っており、全国的に観光地域づくりが進められる中、本村では住民が主体となり地域づくりを行う山江村未来塾100人委員会が幅広い分野で活動している。さらに、これまでの住民主体の地域づくりの活動を基盤とした観光地域づくりの推進組織として、『山江村観光交流促進協議会』もフットパスをはじめとする様々な事業を行っており、地域の活性化につながっている。

しかしながら、昨年度と同様に新型コロナウイルス感染症の影響を受け活動が制限された。

### 【復興村づくり関係】

#### (1) 復興村づくり推進委員会

山江村復興計画の実現を推進するため、山江村復興村づくり推進委員会を令和3年9月に設置。令和3年度では会議を2回開催し、復興計画の進捗状況等を協議した。

第1回：令和3年9月30日

第2回：令和4年3月30日

#### (2) 復興村づくりミーティング

山江村復興計画に定める6つのプロジェクトを進めるため、復興村づくり推進委員会の委員が中心となったチームを作り、ワークショップ形式より開催した。

プロジェクト名	開催日
① 山江の森（守）人育成P J	第1回：令和3年10月26日
② 山江の森・水管理推進P J	第2回：令和3年12月15日
③ いざという時のP J	第1回：令和3年11月 2日
④ 災害にあわない家づくりP J	第2回：令和3年12月21日
⑤ 村内の上下流交流P J	第1回：令和3年10月19日
⑥ 海幸・山幸交流P J	第2回：令和3年12月 7日

### (3) 交流プロジェクト推進事業

山江村復興計画に掲げる交流に係るプロジェクトについて、NPO法人かちやリンクやまえに業務委託し実施した。

○復興村づくりフォーラム（令和3年11月18日）

テーマ：地域コミュニティと復興

講師：東京都立大学教授 山下 祐介 氏

○復興村づくりカフェ（計6回開催）

- ・第1回 栗の皮むきフェア
- ・第2回 食・暮らし文化の創造的復興
- ・第3回 歴史と紅葉&ウォーキング
- ・第4回 クリスマス交流会
- ・第5回 こんにゃくづくり体験
- ・第6回 山野草を食べる会

○八代市金剛小との球磨川河口清掃活動への参加（令和3年11月30日）

○広報活動 復興村づくりの様子を広く紹介した「かちやり便り」の発行

計3回発行（第23～25号）

発行部数：各200部

### (4) 浸水位の表示

6つのプロジェクトのうち、災害にあわない家づくりプロジェクトの取り組みとして、藤田商店へ七夕飾りを設置した。

#### (5) 空き家活用に向けた調査

災害等非常時の避難場所として空き家の活用を検討するため、令和3年4月から5月にかけて村内における空き家の状況調査を実施した。

平成26年度の前回調査から空き家軒数は約70軒増加していることから、今後も土砂災害警戒区域等の危険箇所に該当しない空き家を把握し、緊急時の避難場所等へ活用できるよう引き続き調査を行う。

#### (6) 復興ポータルサイト「鎮山親水」

令和2年7月豪雨災害からの復旧、復興の状況をわかりやすく伝えるとともに、次世代へ災害を語り継ぐためのアーカイブとして、また、SDGsへの取組みとなる森林保全活動や河口清掃活動などを通じた取組等を情報発信し、復興に応援・協力したい人など関係人口の増加へつながるツールとして構築した。(令和4年3月構築、令和4年4月公開)

#### (7) 令和2年7月豪雨被災者等支援交付金

災害からの生活再建並びに市街地及び集落の復興の推進等、当該地域における安全で安心して暮らすことのできる地域づくりを図ることを目的に熊本県が交付しており、関係各課に照会の上申請を行った。

##### ○令和3年度

- ・上半期 1,449,000円

(農地の自力復旧支援事業、林業者の森林作業道の自立復旧支援事業)

- ・下半期 432,260円

(仮設住宅等コミュニティ形成支援事業、農地の自力復旧支援事業、田んぼダム協力支援事業)

#### (8) 仮設住宅団地への掲示物

仮設住宅等に入居されている住民の不安を軽減し、生活再建を進めていくため、治水対策やまちづくり等に関する情報を、令和3年度より国・県・村の持ち回りで掲示物を作成し掲示した。

#### 【地域づくり研究所関係】

## (1) 研究分野

① 村が作成する計画への政策提言

② 山江村のデータ収集

事務報告、観光統計、各種計画、熊本県市町村要覧、栗に関する書籍、栗のレシピ、新聞記事、昔の山江村の写真等の収集。

## (2) ICT 分野

① 情報発信と閲覧分析

【HP】山江村地域づくり研究所、山江村フットパス、やまえ栗公式サイト

【Youtube】山江村地域づくり研究所、山江村フットパス

【Facebook】山江村、山江村地域づくり研究所、山江村未来塾 100 人委員会、やまえ栗まつり、山江フットパス

【情報メディア会議】

令和 3 年 4 月～令和 4 年 3 月 計 26 回開催

② 情報化推進員

村内 16 地区に 1 名ずつ設置し各推進員に iPad を貸与している。地域の出来事や困りごとなどインターネットを使って情報を共有する。

・委員 16 名（任期：R3. 5. 7～R5. 4. 30）

・会議 第 1 回 R3. 5. 7 委嘱状交付、情報化推進員の役割について

第 2 回 R4. 3. 7 送信情報共有、山江村ウェブ版防災マップ（G 空間地域防災システム）の利用方法について、地域の魅力を伝える動画の作り方講座

・情報 投稿数：77 件

③ GIS

山江村ウェブ版防災マップ（G 空間地域防災システム）の導入（事業主体：総務課）に向け、システムの特長やシステム導入の効果等に関し調査研究を行った。

- ・ 会議 令和 3 年 6 月 29 日開催  
令和 3 年 11 月 12 日開催
- ・ 操作説明 令和 3 年 12 月 22 日開催

④ 補助金等情報収集

村の補助金のリスト化を行い、職員や村民も活用できる補助金等活用ブックを作成した。改正等があるので冊子は作らず、PDF 化しホームページ等で最新の情報の提供を行うようにした。

- ・ 発行月：令和 3 年 4 月（10 月に内容更新）

⑤ Web 会議システム講習会の開催

新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、オンライン形式の会議が多くなったため、新規採用職員を対象とした Web 会議システム（zoom）操作講習会を開催した。

- ・ 開催日：令和 3 年 7 月 8 日
- ・ 対象者：3 名

### (3) 人づくり分野

① 山江村未来塾 100 人委員会

山江村未来塾 100 人委員会は、「村民の誰もが元気で楽しく暮らしやすい村づくり」の実現を目指す住民参画による地域づくり組織である。9 部会において分野別に自らの夢と希望の実現に向けて、地域づくり活動を行っている。今年度は新型コロナウイルスや災害の影響もあり、活動ができなかった部会もあった。

【地域づくり活動補助金】 補助金総額：491,500 円 （3 団体）

○100人委員会 部会ごとの活動実績

部会	活動の具体的内容	会員
① 若手農業者 部会長：松本聖司 書記：秋丸大輔	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農作物の共同栽培（水稲）</li> <li>・村内小中学校へ米贈呈（120キロ）</li> </ul>	10人
② やまえ栗ブランド 部会長：久保田武久 書記：田山雄貴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栗の販売（9月～10月）</li> <li>・栗の木オーナー制度（8名）</li> </ul>	10人
③ 観光・交流 部会長：田村四郎 書記：中竹浩之	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フットパスコースの整備・除草作業の実施</li> <li>・三平桜周辺の整備</li> <li>・観光案内人</li> <li>・新層奇石フットパス</li> </ul>	33人
④ 食の提供 部会長：山北早織 書記：尾方恵美	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝市（新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）</li> </ul>	11人
⑤ 情報発信 部会長：山本浩己 書記：藤本一彦	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Facebook「知ったかぶり!山江村情報ネットワーク」、Instagram「#山江村」への投稿</li> </ul>	6人
⑥ 環境・防災 部会長：横山浩之 書記：山本征治	<ul style="list-style-type: none"> <li>・復興村づくり委員会へ委員として参加</li> </ul>	14人
⑦ 福祉 部会長：川内孝之 書記：深水久美子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・軽トラ朝市開催に向け検討</li> </ul>	5人
⑧ 健康・スポーツ 部会長：藤田雄哉 書記：竹本秀樹	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャンプ体験(11/14)</li> <li>・クリスマスフットサル大会（12/11）</li> </ul>	7人
⑨ 文化・教育 部会長：横山理恵 書記：吉川和子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ちいさなくりものがたり」CATVで放送（9/4～9/30）</li> </ul>	8人

② 山江村観光交流促進協議会

本村に係るヒト、モノ、コトそして情報化戦略をもとに、村民自らが参画した交流ネットワーク組織として、多様な人材と関係機関が連携した観光・交流による観光地域づくりを実現することを目的に設立。今年度は新型コロナウイルス感染症や令和2年7月豪雨災害の影響もあり、予定していた事業が出来なかった。

・総会：令和3年7月27日

・事業

- ① フットパスコース等の整備・点検作業
- ② 栗拾い体験【中止】※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため。
- ③ 観光案内人事業：山江フットパス in 万江コース(11/28)
- ④ お花見ハイキング【中止】※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため。
- ⑤ フットパスイベント：新層奇石コースフットパス(11/23)
- ⑥ WaW くまもとネットワーク加入
- ⑦ やまえくり平オリジナル缶バッジ(1,250個)・エコバック制作(300個)
- ⑧ 観光パンフレットの増刷(1,000部)
- ⑨ 観光案内板整備事業
- ⑩ フォトスタンドの作成
- ⑪ フェイスブックによる情報発信
- ⑫ 来訪者アンケート調査の実施（webアンケート）
- ⑬ もちつき親睦会の開催(12/19)
- ⑭ 肥薩線復旧アピール集会の発起人として参加及び肥薩線復旧に関する要望書への賛同

③ やまえ応援大使

本村の恵まれた自然環境、歴史、文化遺産その他観光資源及び特産品等の魅力を広く発信することを目的に、やまえ応援大使を令和元年度に任命している。広報やまえの送付などにより、山江村の情報を提供した。

・東京都港区六本木『 エディション・コウジシモムラ 』

オーナーシェフ 下村 浩司 氏